

VI 防 災

1 概 要

本県の近年の主な災害としては、平成23年3月に東北地方太平洋沖地震（M9.0）が発生し、死傷者や家屋の半壊・一部損壊被害、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う計画停電や放射性物質の放出等による農産物の出荷停止など、県民生活に大きな影響がもたらされた。平成21年7月には、竜巻災害があり、負傷者や建物損壊など大きな被害が発生した。平成19年9月には、台風9号による風水害被害があり、本県西部地域を中心に、その本体が上陸する前から予想をはるかに上回る雨が降り、人的被害は少なかったものの、道路、河川、森林、農地等に多大な被害がもたらされた。

このような災害対応の教訓も踏まえて、災害から県民の生命・身体・財産を保護するため、様々な防災対策を推進している。

（1）群馬県地域防災計画の修正

災害対策基本法に基づいて作成する都道府県地域防災計画は、都道府県における防災に関する基本的かつ重要な計画として位置づけられている。

本県では、群馬県防災会議が、県地域防災計画に検討を加え所要の修正を行っている。平成24年度においては、東日本大震災の被災地における防災課題や教訓等を踏まえた防災基本計画の修正に伴い、特に大規模広域災害に備えた対策についての規定を充実させるとともに、平成24年度に見直した本県の地震被害想定調査により明らかになった防災課題等を踏まえ、各種災害対策の充実を図った。

（2）各種訓練の実施

災害対応の知識・技術力の向上、初動体制の確立及び関係機関との連携強化を図るため、次の訓練を実施した。

区 分	参加者	訓 練 内 容 等
総合防災訓練 (桐生市との共催)	990人	<ul style="list-style-type: none"> ○実施日：平成24年9月8日（土） ○場所：桐生市桜木町 渡良瀬川河川敷「さくら遊園」 ○内容：震災・水害訓練、テロ対策訓練 ○参加機関：自衛隊、警察、消防、医療機関、民間事業者、ボランティア、住民など 93機関
災害対策本部 図上訓練	190人	<ul style="list-style-type: none"> ○実施日：平成25年2月6日（水） ○場所：災害対策本部室、県民ホール ○内容：平成24年度に作成した県災害対策本部各班応急業務マニュアルの自己検証等を行うため、大規模地震発生を想定し、県防災の中核である県災害対策本部の機能、役割の確認、関係機関との連携訓練 ○参加機関：陸上自衛隊第12旅団、警察本部、日赤群馬県支部、群馬DMAT、群馬県消防長会等の機関 ※通信訓練は全市町村、全行政（行政県税）事務所、全消防本部（局）が参加

（3）備蓄倉庫・物資の整備

地域防災センター、10行政事務所、10拠点校及び6土木事務所事業所等に設置してある備蓄倉庫に、食糧、保存水、毛布等を補充した。

(4) 自主防災組織の育成・強化

「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に、自主防災組織の組織率100%を目指し、自主防災組織の普及啓発を行う出前講座や、地域の防災リーダーを育成する県民防災塾等を実施し、自主防災組織の育成・強化を図った。(H24.4.1現在の組織率78.4%)

県民防災塾は、平成12年度から実施しており、平成24年度は31人が参加した。(平成12年度の開始から延べ502人が受講。)

また、「地域防災力パワーアップ支援事業」として、平成24年度は、災害対応先進地視察研修会(2回・参加人数42人)及び地域防災力パワーアップセミナー(参加人数約180人)を実施した。

(5) 危機管理フェアの開催

災害やテロなど県民生活の安全安心を脅かす危機事案について、各種情報や対処方法について県民に正しく理解してもらうことを目的とし、平成25年1月18日・19日の2日間、県庁を会場に開催した。

初日の講演会では、「22連隊 144日間の活動ー東日本大震災における災害派遣ー」「地域を支える・地域が支えるー災害ボランティアの視点から見た被災地支援ー」「緊急地震速報と地震防災への応用ー鉄道を主としてー」の3部構成で講演を行ったほか、2日間を通して、自衛隊、警察、消防など防災機関が保有する装備資機材等やパネルの展示、各種体験コーナーや備蓄食糧の展示販売などを行った。自衛隊による炊き出しの無料配布も行い、延べ1,900の方が来場し、広く防災に対する意識啓発を行うことができた。

(6) 防災キャラバンの実施

市町村で行われる各種「イベント」等の機会をとらえ、地震体験車による各種震度体験、備蓄物資・資機材の展示、災害用保存食の試食等を行い、参加者の防災意識向上を図った。

(7) 火山防災対策

浅間山の火山防災情報の共有や連絡体制の充実等の防災体制強化を図るため、平成17年11月に、群馬県、長野県、浅間山隣接市町村等により浅間山火山防災対策連絡会議を発足し、以後毎年2回開催している。平成24年度中には会議を1回開催した。

また、平成24年10月には「火山噴火(爆発)防災計画 平成24年版」を作成した。

(8) 災害時職員アクションマニュアルの改訂

災害時に職員一人ひとりが迅速かつ的確に行動できるよう平成8年に「震災時職員アクションマニュアル」を作成し、全職員に配布した。その後は、改訂版を作成し、県庁ネットワークを利用して職員に周知を図った。

特に、平成16年は、浅間山の噴火、新潟中越地震、度重なる台風の接近を踏まえて内容を見直し、「災害時職員アクションマニュアル」と改訂した上で製本し、全職員に配布した。

なお、平成17年以降、組織改正などに伴うマニュアルの見直しを随時実施しているが、平成22年には再び製本印刷し、全職員へ配布した。

(9) その他

ア 自衛隊の災害派遣要請

平成24年度は、自衛隊への災害派遣要請はなかった。

イ 林野火災消火用資機材倉庫の維持管理

陸上自衛隊第12旅団相馬原飛行場敷地内に平成13年度に建設した林野火災消火用資機材倉庫の維持管理を行った。

また、長野県、新潟県及び栃木県との協定により空中消火用バケットの使用について、共同して運用管理を行った。

ウ 災害救助法の適用

一定規模以上の災害が発生した場合は、り災者の保護と社会秩序の保全を図るため、災害救助法を適用し、知事がり災者の救助に当たることとなっているが、平成23年中は、同法に基づく救助を要する規模の災害が発生しなかったことから、その適用はなかった（昭和57年以降本県では災害救助法の適用なし）。

2 群馬県地域防災計画の修正状況

防災会議 審議年月日	主な修正事項 (これまでの修正のうち重要なものを抜粋)
38. 9. 10	○群馬県地域防災計画作成
39. 8. 24	○「大震火災予防計画」を新設
42. 6. 1	○災害予防計画で、地すべり関係のほか、山崩れ、がけ崩れ関係危険地域の予防対策を追加
44. 6. 20	○災害予防計画に「火山予防計画」を新設
47. 6. 29	○「地すべり防止対策基本計画」を新設
48. 6. 12	○「林野火災予防計画」及び「林野火災応急対策計画」を新設
53. 7. 25	○災害応急対策計画に「相互応援対策計画」を新設
55. 7. 24	○「自主防災組織育成強化計画」を新設 ○災害対策本部設置前の配備体制として災害警戒本部を追加
63. 7. 26	○群馬県防災行政無線の整備完了に伴い、通報・伝達系統を全面修正
H4. 8. 6	○県地域防災計画の別編として「県震災対策計画」を作成
7. 9. 21	○平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、現行計画を抜本的に修正。主な修正事項は次のとおり。 ①初動体制の確立…宿日直体制・緊急登庁員制度の導入、個別受信機の配備 ②情報収集・伝達体制の整備…パソコンネットワークの構築、代替通信手段の確保 ③自主防災活動の推進…自主防災組織促進協議会の設置、住民の役割を明記 ④相互応援体制の確立…現行応援体制の強化、隣接県との協定締結 ⑤ボランティア活動の育成・支援…ボランティアリーダーの育成、登録制度の導入 ⑥応急物資の備蓄の推進…家庭における備蓄の励行、県・市町村の役割を明記 ⑦防災拠点の整備…地域防災センターの整備
8. 8. 21	○災害対策基本法及び群馬県災害対策本部条例の改正に伴い、群馬県災害対策本部に現地災害対策本部の項を追加
9. 8. 20	○県防災ヘリコプター「はるな」の導入に伴い、「防災ヘリコプター活用計画」を新設
10. 8. 25	○国の防災基本計画の修正に合わせ、道路事故災害及び鉄道事故災害に関する予防計画及び応急対策計画を新設
11. 8. 27	○平成10年に福島県の救護施設で発生した土石流災害を踏まえ、本編に災害弱者対策を新設 ○震災対策編に「本県の地震環境」及び「被害の想定」を新設
13. 6. 13	○県地域防災計画の本編を風水害・雪害対策編、火山災害対策編、事故災害対策編、火災対策編の4つに編立
14. 6. 5	○土砂災害防止法の制定に伴い、土砂災害に関する各種の計画を修正 ○気象業務法に基づく注意報・警報の地域細分化(二次細分地域)に伴う修正
15. 12. 8	○日本郵政公社の発足に伴う、内容の変更 ○群馬県被災宅地危険度判定要綱の制定に伴う事項の追加
16. 12. 27	○水防法改正に伴う内容の変更 ○避難準備(災害時要援護者避難)情報の創設
19. 7. 6	○気象情報の改正(注意報区分変更や土砂災害警戒情報新設等)に伴う修正 ○平成18年豪雪災害の教訓を踏まえた修正
22. 8. 24	○防災基本計画の修正に伴う修正(緊急地震速報、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立等) ○気象情報の改正(気象警報等が市町村単位の発表になったことや噴火警戒レベルの導入)に伴う修正
24. 1. 30	○平成23年3月11日に発生した東日本大震災を踏まえた修正。主な修正事項は以下のとおり。 ①県境を越えた広域避難者の受入れ ②県外で原子力施設事故が発生した際の対応 ③災害時要援護者等への配慮の一層の充実 ④災害時等の燃料不足への対応

25. 3. 21	<p>○東日本大震災の被災地における防災課題や教訓等を踏まえた防災基本計画の修正に伴う修正。主な修正事項は以下のとおり。</p> <p>①大規模広域災害を意識した平時からの備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺自治体や遠隔地自治体との相互応援協定締結の推進 ・障害者・介護保険施設等の施設間連携の推進 <p>②大規模広域災害発生時の応急対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村域、県域を超えた広域避難への対応規定新設 ・県域を超えた広域医療搬送に係る規定の新設 <p>○県地震被害想定調査結果を踏まえ、災害対策の充実を図るための修正。主な修正事項は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県地震被害想定調査結果の反映 ・避難所生活における環境改善及び災害時要援護者への配慮充実 ・帰宅困難者対策の充実
-----------	--

3 市町村地域防災計画の修正報告の状況

市町村名	報告年月日
高崎市	H24. 12. 26
桐生市	H24. 6. 14
伊勢崎市	H24. 12. 6
太田市	H25. 3. 25
渋川市	H25. 3. 1
藤岡市	H25. 3. 7

市町村名	報告年月日
富岡市	H25. 3. 13
片品村	H25. 3. 29
玉村町	H25. 3. 29
明和町	H24. 7. 24
大泉町	H25. 3. 25

4 群馬県総合防災訓練実施状況

※訓練参加実人員

回	年月日	訓練実施場所	参加人員	共催市名
1	40. 8. 10	前橋市岩神町 利根川右岸 県庁北	1,000	前橋市
2	41. 7. 29	高崎市竜見町地先烏川左岸 聖橋下	1,021	高崎市
3	42. 7. 28	桐生市桜木町地先渡良瀬川右岸 錦桜橋下	730	桐生市
4	43. 7. 26	伊勢崎市八斗島町地先 利根川左岸	739	伊勢崎市
5	44. 8. 25	太田市大字飯田 学校建設予定地	1,068	太田市
6	45. 7. 24	渋川市金井羽黒425 関東電化工業敷地	902	渋川市
7	46. 7. 23	館林市大字羽附 群馬県立つつじが岡公園内	1,221	館林市
8	47. 8. 22	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	1,165	沼田市
9	48. 7. 26	藤岡市立石字北川原地先 烏川右岸	1,238	藤岡市
10	49. 9. 3	前橋市岩神町 利根川左岸 競輪場第5駐車場	1,246	前橋市
11	50. 7. 23	富岡市七日市字上久保1250 鐮川左岸	1,222	富岡市
12	51. 8. 24	安中市宿2003 碓井川左岸	901	安中市
13	52. 8. 10	桐生市桜木町地先渡良瀬川右岸 錦桜橋下	1,208	桐生市
14	53. 8. 8	高崎市下和田町地先 烏川左岸	1,148	高崎市
15	54. 8. 8	伊勢崎市福島町地先 利根川左岸	1,387	伊勢崎市
16	55. 9. 1	太田市大字東別所地先 太田大泉飛行場跡地	1,333	太田市
17	56. 9. 1	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	879	沼田市
18	57. 8. 6	館林市城町 三の丸南面グラウンド東広場	4,270	館林市
19	58. 8. 5	渋川市大野地内 渋川市総合体育館南牧草地	3,304	渋川市
20	59. 9. 1	藤岡市下戸塚地内 神流川運動場	10,134	藤岡市
21	60. 8. 6	富岡市上黒岩地内 富岡北部運動公園計画地	7,693	富岡市
22	61. 8. 30	安中市宿地内 碓井川左岸河川敷	7,990	安中市
23	62. 8. 26	前橋市岩神町 利根川左岸 競輪場第5駐車場	※ 1,453	前橋市
24	63. 8. 25	高崎市八千代町一丁目 碓井川左岸 八千代運動公園	※ 1,244	高崎市
25	元. 8. 25	桐生市桜木町地内 渡良瀬川右岸 さくら遊園	※ 1,364	桐生市
26	2. 8. 30	伊勢崎市八斗島町地先 利根川右岸 八斗島ちびっこ広場	※ 1,613	伊勢崎市
27	3. 8. 22	太田市只上地内 渡良瀬川右岸 渡良瀬川運動場	※ 1,519	太田市
28	4. 8. 25	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	※ 1,288	沼田市
29	5. 8. 25	館林市大島町地内 渡良瀬川右岸 館林市青少年ひろば	※ 1,713	館林市
30	6. 9. 1	渋川市半田地内 上毛新聞社情報製作センター建設予定地	※ 818	渋川市
31	7. 9. 5	藤岡市上戸塚地内 神流川左岸 神流川運動場	※ 1,138	藤岡市
32	8. 8. 30	富岡市上黒岩1377-1 もみじ平総合公園 北ゾーン	※ 1,310	富岡市
33	9. 9. 4	安中市郷原939 (株)岡本工作機械製作所安中工場敷地	※ 1,019	安中市
34	10. 9. 4	前橋市総社町総社地内 利根川右岸 大渡緑地	※ 1,266	前橋市
35	11. 9. 3	高崎市八千代町 八千代運動公園	※ 1,603	高崎市
36	12. 9. 5	桐生市桜木町 さくら遊園	※ 1,741	桐生市
37	13. 9. 2	伊勢崎市八斗島町 利根川右岸 八斗島ちびっこ広場	※ 2,013	伊勢崎市
38	14. 8. 31	太田市原宿町 渡良瀬川右岸 渡良瀬グランド	※ 1,451	太田市
39	15. 8. 30	沼田市碓田町 沼田市運動公園	※ 1,428	沼田市
40	16. 8. 29	館林市大島町 渡良瀬川河川敷青少年ひろば	※ 1,100	館林市
41	17. 9. 3	渋川市半田地内 坂東橋緑地公園	※ 815	渋川市
42	18. 9. 2	藤岡市立石地内 烏川右岸 烏川緑地	※ 1,332	藤岡市
43	19. 10. 20	前橋市粕川町 サンデン(株)赤城事業所敷地	※ 757	前橋市
44	20. 9. 6	安中市宿 碓氷川左岸敷地内	※ 738	安中市
45	21. 9. 12	みどり市笠懸町阿左美地内 桐生競艇場駐車場	※ 827	みどり市
46	22. 9. 18	富岡市蚊沼607-3他 (株)稲葉製作所富岡工場建設予定地	※ 960	富岡市
47	23. 9. 10	高崎市下之城町 高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業地内	※ 1,000	高崎市
48	24. 9. 8	桐生市桜木町地内 渡良瀬川河川敷「さくら遊園」	※ 990	桐生市

(注) 訓練概要

- ① 想定・・・1回～15回は台風、16・17・23・39・43回は地震、18～22・24～31・34～38・40～42・45～47回は地震及び台風(41～47回はテロ対策含む)、32、33回は地震及び林野火災
- ② 訓練種目・・・警戒広報・避難誘導、被害調査・情報収集、孤立地域からの救助、情報通信、水防、各種救出救助、消火、林野火災消火、救急医療、ライフライン応急復旧、救援物資輸送、テロ対処等

- ③ 参加機関・・・県、市町村、自衛隊、警察、消防、国土交通省、日赤、東京電力、N T T、地域住民、各種ボランティア、その他防災関係機関・団体

5 県火山防災対策連絡会議等開催状況

年月日	場 所	主 な 議 題
54. 10. 31	中之条合同庁舎会議室	○浅間山及び草津白根山の現況について ○火山防災計画の概要について ○各機関における対策の現況及び今後の計画について
56. 1. 19	〃	○浅間山及び草津白根山の現況について ○火山防災対策連絡会議の設置について ○浅間山噴火防災応急計画の見直しについて
56. 5. 29	〃	○火山噴火（爆発）災害対策細部計画（仮称）案について
58. 3. 15	〃	○浅間山の火山活動について
59. 3. 2	〃	○浅間山及び草津白根山の噴火状況等について
60. 3. 1	〃	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○構成員の新規加入について
61. 2. 28	〃	○情報伝達施設（防災無線）の整備運用について
62. 2. 18	〃	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について
63. 2. 14	〃	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○構成員の新規加入について
3. 1. 24	〃	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○構成員の新規加入について
5. 3. 23	〃	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○火山地域防災機能強化総合治山事業について ○構成員の新規加入について
8. 3. 22	中之条町役場大会議室	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○火山噴火災害危険区域予測図（ハザードマップ）の作成について ○火山噴火警戒避難対策事業について
10. 3. 17	吾妻町山村開発センター 会議室	○火山噴火（爆発）防災計画の概要及び修正について ○草津白根山及び浅間山の最近の活動状況等について
12. 3. 17	群馬県庁 2 9 1 会議室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について
13. 11. 2	群馬県地域防災センター 災害対策本部室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について ○群馬県火山防災対策連絡会議設置要綱の制定について ○構成機関の追加について
15. 12. 19	群馬県地域防災センター 災害対策本部室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について ○構成機関の追加について
18. 3. 15	群馬県庁 2 9 1 会議室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について
19. 6. 28	嬭恋会館 3 階大ホール	○浅間山火山防災対策連絡会議 ・浅間山航空観測について ・浅間山ハザードマップについて ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山噴火シナリオ（案）について ・噴火警戒レベルの導入について ・意見交換 ほか
19. 11. 29	嬭恋会館 3 階大ホール	○浅間山火山防災対策連絡会議 ・防災対応に係る申し合わせ書について ・気象業務法の一部改正に伴う噴火警報の実施について ・軽井沢測候所火山観測要員の浅間山周辺市町村への駐在

20. 2. 07	群馬県地域防災センター	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・その他各種活動状況について ほか ○群馬県火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・浅間山、草津白根山の現在の活動状況について ・気象業務法の一部改正に伴う噴火警報の実施について ・火山噴火（爆発）防災計画の今後について
20. 7. 14	軽井沢中央公民館	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・委員（幹事）の変更、追加について ・浅間山の最近の活動状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・国土交通省・内閣府による講演会 ほか
20. 11. 18	軽井沢中央公民館	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・浅間山の最近の活動状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・その他各種活動状況について ほか
21. 3. 05	群馬県庁 7階 災害対策本部室	○浅間山火山防災対策連絡会議（幹事会） <ul style="list-style-type: none"> ・浅間山の最近の活動状況について ・噴火警戒レベルの引上げ等に関する考え方について ・火山に関する解説情報、降灰予報等について ・意見交換 ・連絡会議への新規参画について ほか
21. 7. 02	長野原町 山村開発センター	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・委員（幹事）の変更、追加について ・浅間山火山防災マップ原案について ・「防災対応についての申し合わせ」の内容修正等 ・浅間山の最近の活動状況について ・意見交換 ほか
21. 12. 22	長野原町 山村開発センター	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・浅間山の融雪型火山泥流における防災対応の基本方針 ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ほか
22. 3. 15	群馬県地域防災センター	○群馬県火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・火山防災エキスパートによる講演 ・浅間山、草津白根山の現在の活動状況について ・火山噴火（爆発）防災計画の修正について
22. 8. 24	御代田町 エコールみよた	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・融雪型火山泥流作業チームの検討状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山の火山活動状況等について

22. 12. 22	御代田町 エコールみよた	<ul style="list-style-type: none"> ・その他各種活動状況について ほか ○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・融雪型火山泥流作業チームの検討状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ・火山防災エキスパートによる講演会 ほか
23. 8. 16	嬭恋村 嬭恋会館	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・融雪型火山泥流に関する住民説明会について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山大規模噴火対策の検討について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ほか
23. 11. 25	嬭恋村 嬭恋会館	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・融雪型火山泥流に関する住民説明会の実施状況について ・融雪型火山泥流に係る防災対応に関する申し合わせ書について ・浅間山大規模噴火対策の検討について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ・火山防災エキスパートによる講演会 ほか
24. 3. 15	群馬県地域防災センター	○群馬県火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・気象庁火山課職員による講演 ・浅間山、草津白根山の現在の活動状況について ・火山噴火（爆発）防災計画の修正について
25. 1. 22	佐久市 浅間会館	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・融雪型火山泥流交通規制予定箇所等について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況報告について

6 平成24（2012）年の気象概況

平成24年の群馬県における月別気象概況は次のとおりです（前橋地方气象台提供）。

1月	月を通して、西高東低の冬型の気圧配置が多かったことから晴れの日が多くなりました。また、上空には寒気の流入が多かったことから、各地で気温は低く推移しました。また、19日～20日にかけては関東地方の南海上を低気圧が通過し、県内各地で積雪となりました。降水量は地域差が見られましたが概ね平年並みの所が多くなりました。
2月	上旬から中旬にかけて、西高東低の冬型の気圧配置で晴れの日が多くなりました。また、上空には寒気の流入が多かったことから、各地で気温は低く推移しました。下旬は、低気圧が短周期で関東地方の南海上を通過したことから、降水量は南部を中心に多くの地域でかなり多くなりました。月末の29日には県内の広い範囲で雪となり、前橋では積雪が17センチと平成13年1月27日の23センチ以来の大雪となりました。（2月としては平成6年2月12日の20センチ以来）
3月	低気圧や前線、気圧の谷などが日本付近を周期的に通過したことから、曇りや雨の日が多くなりました。また、上空の寒気の流入も多かったことから、気温は全般に低くなりました。県内の降水量は、上旬から中旬の前半にかけて雨が多く、まとまった雨の日もあったことから、各地で平年を上回り、日照時間は各地で平年を下回りました。
4月	上旬は冬型で上空の寒気が入ることが多かったことから、南部では晴れる日が多く、北部山沿いでは曇りや雨の日が多くなりました。中旬以降は低気圧と高気圧が交互に日本付近を通ることが多かったことから、天気の変り変わりが激しくなりました。県内の平均気温は県内全般に低くなりました。県内の降水量は、地域差はあったものの、概ね平年並となりました。
5月	月のはじめは前線や低気圧の影響で雨の日が続きました。その後は、高気圧と低気圧が交互に通る周期変化となることが多くなりました。また、期間を通じて頻繁に上空に寒気が流入したことから、雷雨となる日が多く、雷日数は平年（2.4日）の約3倍の7日ありました。県内の平均気温は県北部で低い地域が、南部で高い地域が見られましたが概ね平年並となりました。県内の降水量は、不安定性の降水が多かったことから、各地で平年を上回りました。
6月	下旬のはじめにかけて、梅雨前線の活動の活発化及び台風第4号の影響を受けて雨の日が多くなりました。その後は、高気圧に覆われこの時期としては比較的晴れた日が多くなりました。県内の気温は、寒暖の変化が激しくなりましたが、月を通すと平年並みからやや低くなりました。県内の降水量は、下旬のはじめにかけ前線活動や台風などの影響で、平年を上回りましたが、その後は、高気圧に覆われる日が多かったことから各地で平年を下回りました。
7月	上旬から中旬の前半にかけて、梅雨前線の活動の活発化と上空の寒気、南海上からの湿った空気の流入などで、曇りや雨の日が多く、雷を伴う日もありました。7月17日には関東甲信地方は梅雨明けとなり、太平洋高気圧に覆われる日が多くなりましたが、上空に寒気の流入もあり雷が多くありました。下旬の前半は北東からの冷たい湿った空気の流入があり、朝晩を中心に弱く冷たい雨が続きました。
8月	上旬の半ばから中旬の半ばにかけて、オホーツク海の高気圧や日本海に前線が停滞した影響で、湿った空気が入りやすくなり、曇りや雨となった日もありましたが、月全般には太平洋高気圧に覆われ、安定した晴れの日が多くなりました。このため、県内全般に高温で少雨となりました。
9月	月初めから中旬の半ばにかけて、高気圧に覆われることが多く晴れて残暑が続きました。中旬の後半から半ばにかけては、台風や気圧の谷の通過、低気圧などの影響で曇りや雨の日が多くなりました。
10月	期間を通して移動性高気圧と気圧の谷や前線、低気圧、台風などの周期変化となりました。また、全般に大きな崩れがなく、高気圧の影響を受け晴れる日が多くなりました。県内の気温は、高気圧の影響を受けた日が多かったことから、概ね平年並で高い地域もありました。県内の降水量は、まとまった雨の降る日が少なかったことから、概ね平年を下回りました。

11月	<p>期間を通して日本付近を気圧の谷や前線、低気圧の通過から冬型の気圧配置となり移動性高気圧に覆われる周期変化が比較的に多くみられました。また、全般に大きな崩れはありませんでした。県内の気温は冬型の気圧配置で寒気の流入が多かったことから県内全般に低くなりました。降水量も冬型の気圧配置により北部の山間部のみならず、藤原で平年を上回りましたが、その他の地域は平年を下回りました。</p>
12月	<p>冬型の気圧配置が多くなりました。また、日本付近を前線を伴った低気圧が周期的に通過しましたが大きな崩れはありませんでした。上空には断続的に強い寒気が入り、前橋では9日（平年は12月15日）に初雪を観測しました。県内の気温は冬型の気圧配置で寒気の流入が多かったことから各地で平年より低くなり、かなり低い地域もありました。降水量は概ね平年並でしたが北部では平年より多い地域もありました。</p>

前橋の平均気温・降水量・日照時間の平年との比較（前橋地方气象台提供）

月	平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
	平成24年	平年差	階級区分	平成24年	平年比（%）	階級区分	平成24年	平年比（%）	階級区分
1	2.4	-1.1	低い	66.0	99	多い	202.9	97	少ない
2	3.2	-0.8	低い	36.5	114	多い	178.4	92	少ない
3	6.8	-0.5	低い	86.5	141	多い	172.8	84	少ない
4	12.7	-0.5	平年並	82.0	105	平年並	177.9	89	少ない
5	18.2	+0.2	平年並	162.5	159	多い	211.0	110	多い
6	21.1	-0.4	平年並	158.5	109	多い	138.1	104	多い
7	26.1	+1.0	高い	166.5	84	平年並	142.2	102	平年並
8	28.6	+2.2	かなり高い	31.5	16	かなり少ない	256.1	155	かなり多い
9	24.9	+2.5	かなり高い	201.0	91	平年並	152.0	120	多い
10	17.4	+0.9	高い	68.0	59	少ない	194.9	121	かなり多い
11	10.1	-0.7	低い	38.5	86	平年並	191.6	107	多い
12	4.8	-1.2	低い	16.5	71	平年並	198.4	97	平年並
年	14.7	+0.1	平年並	1074.0	86	少ない	2216.3	105	多い

群馬県における地震の概況について（前橋地方气象台提供）

平成24年に群馬県で最大震度3以上を観測した地震は20回（平成23年は70回）でした。そのうち、1月1日14時28分の鳥島近海の地震、6月1日17時48分の千葉県北西部の地震、7月16日4時31分の茨城県南部の地震、12月7日17時18分の三陸沖の地震では、群馬県内で最大震度4を観測しました。

7 平成24年災害状況

(1) 災害種別被害額

(単位：千円)

災害種別	平成23年			平成24年		
	件数	被害額	比率(%)	件数	被害額	比率(%)
台風	4	2,776,505	59.16	2	536,128	38.42
凍霜害						
集中豪雨	8	1,255,295	26.75	7	344,350	24.68
降ひょう				3	171,931	12.32
干害						
風害	2	75,611	1.61	3	100	0.007
地震	1	562,070	11.98	2	25,000	1.79
落雷						
地すべり				3	217,782	15.61
落石	1	24,000	0.51	1	100,000	7.17
湿害						
雪害	3			3		
火山害						
合計	19	4,693,481	100.0	24	1,395,291	100.00

(2) 施設別等被害額

年	件数	公共文教施設	農林水産業施設	公共土木施設	農作物等被害	その他
平成18年	22		157,536	173,380	47,824	478,489
平成19年	22	19,071	1,911,547	2,413,127	1,588,684	6,648,793
平成20年	33		38,650	703,900	290,803	682,000
平成21年	18	2,866	27,400	214,730	3,193	44,445
平成22年	21		86,791	227,577	1,205,449	510,435
平成23年	19	238,974	378,312	2,535,748	587,981	952,466
平成23年	24		102,132	521,000	539,728	232,431

(3) 災害別内訳(人的・住家被害)

災害番号	災害発生年月日	災害種別	発生地域	人的被害				住家被害												り災者数	り災者数						
				死者	行方不明者	負傷者		全壊			半壊			一部破損			床上浸水					床下浸水					
						人	人	重傷	軽傷	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟			世帯	人	棟	世帯	人	世帯
1	1月	雪害	沼田市、安中市、草津町、片品村			2	2																				
2	2月	雪害	高崎市、安中市、草津町、片品村、みなかみ			3	3																				
3	3月	雪害	中之条町、草津町、みなかみ町			1	2																				
4	3/19~9/11	地すべり																									
5	4/3	強風	県内各地				2							6	6	18											
6	5/6	強風	富岡市				1																				
7	5/17	降ひょう																									
8	5/28	降ひょう																									
9	5/30	大雨	前橋市																		1	1	1				
10	6/19	台風第4号	県内各地				3							38	38	87					7	7	15				
11	6/29	地すべり																									
12	7/5	突風	太田市											3	3	6											
13	7/10	地すべり																									
14	7/18	降ひょう																									
15	7/27~28	大雨	沼田市																		3	3	6	15	23		
16	7/28	大雨、突風	高崎市、安中市											2	2	4	15	15	23	79	89	191					
17	7/29	大雨	嬭恋村																		1	1	6				
18	8/3	地震																									
19	8/17	大雨																									
20	9/11	大雨	藤岡市																		2	2	3				
21	9/23	大雨	藤岡市、玉村町																		2	2	3				
22	9/30	台風第17号	桐生市、伊勢崎市、太田市				1							6	6	12											
23	12/7	地震	伊勢崎市				1																				
24	12/19	落石																									
		計		0	0	6	15	0	0	0	0	0	0	55	55	127	15	15	23	95	105	225	15	23			